

第184回 杏林大学医学部倫理委員会議事録

日 時： 平成27年7月27日（月） 13:00～14:40
場 所： 本部棟11階南側会議室
構 成 員 数： 12名
出 席 者： 古瀬純司 阿久澤利明 岩下光利 大川昌利 大倉康男 大瀧純一
神谷茂 坂本ロビン 萩原玉味 木下千鶴 吹野俊郎 藤岡保範
(以上12名)
オブザーバー 跡見裕 渡邊卓

- A. 議題 1. 審査 4件
2. 報告 90件
- B. 資料 1. 研究倫理審査申請書
2. 研究倫理審査報告書

C. 議事の経過要領

古瀬倫理委員長が議長となり、医学部倫理委員会規定に基づく充足数を満たしていること及び第4条第1項第2号（法律学の専門家等人文・社会科学の有識者）並びに第3号（一般の立場を代表するもの）の委員の出席を確認し、本委員会が有効に成立する旨報告があった。

1. 審査

(1) 細胞生理学教授 赤川 公朗

統合失調症患者の *syntaxin1A*、*1B* 遺伝子解析と臨床症状との関連性の検討

本研究は、遺伝子に関する研究であるため倫理委員会にて審議されることとなったものである。研究概要は、国立精神・神経医療研究センター（NCNP）バイオバンクから統合失調症患者及び健常コントロール DNA の提供を受け、*syx1A* 及び *syx1B* の遺伝子解析を行う。その結果によって該当患者の臨床症状データを提出してもらい、特定症状に対する関与について更なる解析を行うものである。

委員長は、赤川教授に議題の趣旨説明を求め、当該研究の目的、方法の倫理上の妥当性、患者への対応等について委員から意見を求めた。

慎重な討議を行った結果、以下の7点の指摘事項があり、書類の追記修正をしたことを委員長が確認した上で承認することとした。

《指摘事項》

- ①研究計画の概要及び研究計画書において、国立精神・神経医療研究センターのバイオバンク組織及び、本研究における位置付けを詳しく明記すること。
- ②バイオバンクの利用規定等があれば付すこと。
- ③研究計画書に研究体制として、各施設の責任者を記載すること。
- ④研究計画書の「研究の意義と目的」を第三者にも分かりやすく、研究の段階的に記載すること。
- ⑤上記④に加えて、本研究の位置付けも明記すること。
- ⑥研究の背景として、引用文献等を付すこと。
- ⑦研究の診断基準（判断基準、除外基準も含め）を明記すること。

(2) 内科学 (I) 助教 渡辺 雅人

微小粒子状物質 (PM2.5) をはじめとする大気汚染物質に高感受性を示すぜん息群の抽出とその増悪予防のための効率的な健康管理手法の確立に関する調査研究

本研究は、本学が代表研究施設となる多施設共同研究であり、かつ、遺伝子に関する研究であるため倫理委員会にて審議されることとなったものである。研究概要としては、2段階あり、前段階として喘息群等の患者及び健常者の病態解明・ハイリスク群の効率的な抽出の指標確立を行い、その上で次段階として、ランダム化したハイリスク群に日常管理指導法の介入研究を行うものである。

委員長は、渡辺助教に議題の趣旨説明を求め、当該研究の目的、方法の倫理上の妥当性、患者への対応等について委員から意見を求めた。

慎重な討議を行った結果、以下の16点の指摘事項があり、書類の追記修正をした上で再審査することとした。

《指摘事項》

- ①前向き介入研究であることから研究課題名の「調査研究」を「介入研究」に修正すること。
- ②研究計画の概要3頁(2)研究の方法「抗酸化酵素群の遺伝子多型を解析する」について詳しく内容を明記すること。
- ③臨床試験実施計画書表紙に事務局の担当者名の記載がない。研究代表者と同人で構わないので記載すること。
- ④対象別に、どういった検査を実施し介入するのか研究の全体像を分かりやすく、段階的に記載すること。
- ⑤研究計画の概要3頁及び、臨床試験実施計画書3頁の症例数について、対象別に詳細に記載すること。また、現在の設定根拠では介入のための参考にはならないので、具体的な設定根拠を記載すること。
- ⑥実施計画書5頁及び8頁文中に「血漿よりDNAを抽出」「血漿を採取」とあるが、

血漿を血球に修正すること。

- ⑦実施計画書 5 頁⑦及び 9 頁⑦文中にある「細心の注意を払う」とは、具体的に何を指しているのか、明確にすること。
- ⑧実施計画書 6 頁に問診表とあるが、問診票に修正し、原本を付すこと。
- ⑨参考文献をもっと付すこと。
- ⑩ランダム化はどのように行うのか、方法について詳しく記載すること。
- ⑪実施計画書 11 頁モニタリング・監査とあるが、誰が実施するのか、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に沿って記載すること。
- ⑫実施計画書及び説明文書中に参加した患者に対する結果説明についての記載がない。追記すること。
- ⑬説明文書 1 頁研究の目的・意義として「この成果は、より効率的で有効な大気汚染対策に役立つ可能性がある研究です」とあるが、患者に利益があるのか、患者以外に利益があるのか、分からない。また、研究結果について患者に結果を説明するのか、しないのかも明記されていない。併せて、具体的に記載すること。
- ⑭説明文書 1 頁文中「採決サンプル」を「採血サンプル」に修正すること。
- ⑮説明文書 2 頁文中「この研究については、患者さんのプライバシーが守られるよう十分配慮することをお約束いたします。」とあるが、具体的に配慮する点を挙げて記載すること。
- ⑯説明文書 2 頁文中「保健診療」を「保険診療」に修正すること。

(3) 麻酔科学助教（任期制） 鵜澤 康二

長時間手術の術後患者合併症を最小にする最適輸液管理方法を検討する：無作為対照試験

本研究は、長時間手術後の合併症を最小にする術中輸液管理方法を明らかにすることを目的とした介入を伴う無作為対照試験であり、本学単独の研究であることから倫理委員会にて審議されることとなったものである。

委員長は、鵜澤任期制助教に議題の趣旨説明を求め、当該研究の目的、方法の倫理上の妥当性、患者への対応等について委員から意見を求めた結果、本研究に協力した患者に対してメリットがあるのか研究計画書等を確認する限り不明であり、ランダム化の方法も含め倫理指針に沿っていないことが多々あり、研究計画全体としても分かりにくいとの判断に至った。

慎重な討議を行った結果、以下の 9 点の指摘事項があり、書類の追記修正をした上で再審査することとした。

《指摘事項》

- ①長時間手術とあるが、基本的に開腹手術で行うことを明記すること。
- ②研究計画の概要 1 頁<制限輸液法フローチャート>が並行に並んでいることから、

それぞれが独立してこのライン上に起こりえる状況のように見える。文章では理解できるがフローチャートにすると分かりにくく混乱する。

- ③研究計画の概要 3 頁 (6) 予想される結果に、拡大胆嚢摘出術、拡大肝臓切除術等は現在使用されていない。肝臓切除等の適切な術式を使用すること。
- ④「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に沿って、ランダム化していることから安全管理や有害事象が起きたときの対処、安全評価委員会、モニタリング等を含めた研究計画にすること。
- ⑤研究の概要、研究計画書等を読んでも内容が分からない。もう少し分かりやすく記載すること。
- ⑥本研究に参加することによって、どのようなメリット・デメリットがあるのか記載すること。
- ⑦本研究のランダム化によって起こりえる合併症、予期せぬ合併症、手術による合併症等を区別して記載すること。
- ⑧手術の状況に応じて、管理方法も臨機応変となっていくことを考慮して、患者説明文書 3 に、研究へ協力しなかった場合の術中での対応について追記すること。
- ⑨ランダム化にあつては、倫理的配慮をした上で、研究者や患者の意思の偏りがないように留意し、ランダム化の方法を分かりやすく記載すること。

(4) 内科学 (腫瘍科) 助教 (任期制) 成毛 大輔

"大腸癌以外の消化管癌におけるがん関連遺伝子異常のプロファイリングの多施設共同研究 SCRUM-Japan GI-screen 2015-01-Non CRC"

本研究は、遺伝子に関する多施設共同研究 (研究代表機関は国立がん研究センター東病院) であるため倫理委員会にて審議されることとなったものである。

研究代表機関の倫理委員会結果通知書及び会議記録の概要の確認を行ったうえで、神谷委員長代理は、成毛任期制助教に議題の趣旨説明を求め、遺伝子変異を網羅的に収集し今後の治療に役立てることを目的とし、診断の際に対象がんと診断された患者から保存検体の利用及び検体・データの二次利用についてと、研究過程で患者に対して有益な情報が得られた場合の通知の有無についても同意を得て実施する研究であると確認できた。

当該研究の目的、方法の倫理上の妥当性、患者への対応等について委員から意見を求め、慎重な討議を行った結果、申請どおり承認された。

なお、当事者である古瀬純司委員長、大倉康男委員は本審議及び採決に参加していない。

2. 報告

委員長は研究倫理審査報告書について説明し、討議の結果以下の報告事項 (1) から (90) について倫理的に問題がないと判断した。

- (1) 内科学(II)教授 高山 信之 (承認)
臍帯血移植レシピエントにおける HHV-6 脳炎の予防を目的としたホスカルネット
90mg/kg/日投与
- (2) 臨床検査部主任技師 米谷 正太 (承認)
MALDI-TOF MS を用いた血液培養ボトルからの直接菌種同定法における
前処理法の検討
- (3) 臨床検査医学兼担教授 岸野 智則 (承認)
超音波検査所見の臨床的意義に関する網羅的解析
- (4) 眼科学教授 井上 真 (承認)
糖尿病黄斑浮腫に対する、抗 VEGF 単独治療と抗 VEGF 治療及びエンドポイント
マネジメントレーザー光凝固併用治療との比較研究 (END-DME study)
- (5) 外科学助教 (任期制) 小暮 正晴 (承認)
多施設共同観察研究「自己免疫性膵炎の前向き追跡調査」
- (6) 皮膚科学教授 大山 学 (承認)
ヒト iPS 細胞を用いた皮膚付属器再生の試み
- (7) 臨床検査部技師長補佐 佐藤 英樹 (承認)
慢性血栓塞栓性肺高血圧に対する経皮的肺動脈バルーン拡張術後の生理機能検査
(心電図・心臓超音波など) 変化についての研究
- (8) 内科学 (II) 教授 吉野 秀朗 (承認)
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン
単剤療法に関する臨床研究 (AFIRE Study)
- (9) 内科学 (I) 学内講師 福岡 利仁 (承認)
腹膜透析(PD)の患者予後と治療方法についての調査
(Peritoneal Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study : PDOPPS)
- (10) 内科学 (II) 准教授 坂田 好美 (承認)
 ω -3 脂肪酸 (EPA+DHA) の心機能改善効果の検討
- (11) 脳神経外科学教授 塩川 芳昭 (承認)
未破裂脳動脈瘤患者に対するフェルモキシトールを造影剤として使用した MR での
マクロファージイメージングの実施可能性の検討
- (12) 統合生理学教授 大木 紫 (承認)
体験してきた食卓状況とコミュニケーションの関連摂食障害患者と健常者の比較
- (13) 産科婦人科学准教授 古川 誠志 (承認)
妊娠初期に診断された潜在性甲状腺機能低下症と妊娠予後に関する後ろ向き
コホート研究 (多施設アンケート調査研究)
- (14) 救急医学助教 (任期制) 大田原 正幸 (承認)
熱中症患者の医学情報等の即日登録による疫学調査 (2015)

- (15) 形成外科学助教 成田 圭吾 (承認)
舌再建術後の機能に対するリスク因子解析
- (16) 精神神経科学講師 菊地 俊暁 (承認)
治療抵抗性気分障害患者の実態調査 : 診療記録調査
- (17) 臨床検査部臨床検査技師 本山 拓也 (承認)
当院小児科、血液内科におけるピロリ菌尿素呼吸ガス試験の現状についての検討
- (18) 内科学(Ⅱ)講師 佐藤 俊明 (承認)
心臓身体障害者再認定の評価方法及び評価時期を調査するためのレジストリー研究
- (19) 麻酔科学准教授 森山 潔 (承認)
杏林大学医学部付属病院における経鼻高流量酸素療法の実態調査
- (20) 麻酔科学准教授 森山 潔 (承認)
パルスオキシメーターの低酸素血症検出精度の検討 (後ろ向き比較調査)
- (21) 麻酔科学准教授 森山 潔 (承認)
日本集中治療医学会主催の集中治療室入室患者登録システム事業への参画
- (22) 救急医学准教授 山田 賢治 (承認)
上肢末梢血管の周囲に分布する末梢神経～Sihler 染色による解剖体の検討
- (23) 小児科学教授 楊 國昌 (一部変更)
糖質ステロイド感受性・抵抗性機序に関わる遺伝子解析研究
- (24) 形成外科学兼担教授 大浦 紀彦 (一部変更)
重症下肢虚血における足部組織酸素飽和度 (tissue oxygen saturation : StO₂)
マッピングの有用性の検討
- (25) 内科学(Ⅱ)講師 佐藤 俊明 (一部変更)
心内インピーダンス (ICI) と心不全患者管理に関連する臨床マーカーを比較し、ICI
測定 of 臨床的妥当性を実証する前向き非無作為化多施設共同研究
- (26) 形成外科学講師 菅 浩隆 (実施状況)
ヒト単球・マクロファージ系細胞の創傷治癒過程における役割の解明
- (27) 形成外科学講師 菅 浩隆 (一部変更)
ヒト単球・マクロファージ系細胞の創傷治癒過程における役割の解明
- (28) 外科学教授 井本 滋 (一部変更)
JBCRG-19 : HER2 陰性再発乳癌患者の1次もしくは2次化学療法としての
エリプリンの臨床的有用性に関する検討 (ランダム化第Ⅱ相試験)
- (29) 外科学教授 井本 滋 (一部変更)
内分泌療法既治療の手術不能又は再発乳癌患者に対するパクリタキセルとベバシズマ
ブ療法の非進行例を対象としたパクリタキセルとベバシズマブ継続療法と内分泌維持
療法のランダム化第Ⅱ相試験
- (30) 眼科学教授 平形 明人 (一部変更)

ルセンテイス®硝子体内注射液 ルセンテイス®硝子体内注射用キット特定使用成績
調査【糖尿病黄斑浮腫】

- (3 1) 放射線医学准教授 横山 健一 (一部変更)
1.5T ならびに 3T MRI における形態・機能情報取得機能を生かした心臓を中心とする全身の高速・高精細撮像法の臨床的有用性についての研究
- (3 2) 耳鼻咽喉科学講師 池田 哲也 (実施状況)
頭頸部放射線治療に伴う口腔乾燥症状に対するピロカルピン塩酸塩の有効性・安全性に関する検討
- (3 3) 耳鼻咽喉科学講師 池田 哲也 (一部変更)
頭頸部放射線治療に伴う口腔乾燥症状に対するピロカルピン塩酸塩の有効性・安全性に関する検討
- (3 4) 内科学 (I) 教授 滝澤 始 (実施状況)
ぜん息患者の増悪及び未発症成人の発症の予測のための気道バイオマーカーの確立とその大気汚染物質の影響評価への応用に関する調査研究
- (3 5) 内科学 (I) 教授 滝澤 始 (一部変更)
ぜん息患者の増悪及び未発症成人の発症の予測のための気道バイオマーカーの確立とその大気汚染物質の影響評価への応用に関する調査研究
- (3 6) 内科学 (II) 教授 高山 信之 (一部変更)
成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植療法を組み込んだ治療法に関する非ランダム化検証的試験 (JCOG0907)
- (3 7) 内科学 (II) 教授 高山 信之 (一部変更)
高齢者または移植拒否若年者の未治療症候性骨髄腫患者に対する melphalan+prednisolone+bortezomib (MPB) 導入療法のランダム化第 II 相試験 (JCOG1105) 付随研究 : JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク
- (3 8) 泌尿器科学教授 桶川 隆嗣 (一部変更)
腎がん臨床サンプルを用いたメタボローム解析
- (3 9) 内科学 (I) 学内講師 皿谷 健 (実施状況)
呼吸器感染症の喀痰グラム染色貪食像の意義についての臨床的検討
- (4 0) 内科学 (I) 学内講師 皿谷 健 (一部変更)
呼吸器感染症の喀痰グラム染色貪食像の意義についての臨床的検討
- (4 1) 耳鼻咽喉科学准教授 唐帆 健浩 (実施状況)
嚥下造影検査の代替検査としての、嚥下内視鏡検査および嚥下圧検査の信頼性に関する研究
- (4 2) 耳鼻咽喉科学准教授 唐帆 健浩 (一部変更)
嚥下造影検査の代替検査としての、嚥下内視鏡検査および嚥下圧検査の信頼性に関する研究

- (43) 麻酔科学学内講師 森山 久美 (実施状況)
周術期管理外来が手術室運営に果たす役割
- (44) 麻酔科学学内講師 森山 久美 (一部変更)
周術期管理外来が手術室運営に果たす役割
- (45) 内科学 (Ⅲ)助教 炭谷 由計 (実施状況)
携帯型脈拍計を活用した運動療法が血糖コントロール及び血管内皮機能へ及ぼす影響の検討
- (46) 内科学 (Ⅲ)助教 炭谷 由計 (一部変更)
携帯型脈拍計を活用した運動療法が血糖コントロール及び血管内皮機能へ及ぼす影響の検討
- (47) 皮膚科学准教授 水川 良子 (一部変更)
薬疹の遺伝子多型および発症因子の解析
- (48) 保健学部看護学科講師 伊藤 有美 (実施状況)
人工呼吸管理中の患者の疼痛評価に影響する要因についての検討
- (49) 内科学 (Ⅱ)教授 吉野 秀朗 (実施状況)
冠攣縮性狭心症に関する多施設共同前向きレジストリ研究
- (50) 外科学教授 井本 滋 (実施状況)
トラスツズマブおよびタキサン系抗癌剤治療歴のある **HER2** 陽性の転移性または切除不能局所進行乳癌において、トラスツズマブ+カペシタビン併用療法(**HX** 療法)と、ラパチニブ+カペシタビン併用療法 (**LX** 療法) とを比較するランダム化第Ⅱ相試験 (WJOG 6110B)
- (51) 内科学 (Ⅱ)教授 高山 信之 (実施状況)
成人T細胞白血病・リンパ腫に対する骨髄破壊的前処置法を用いた同種造血幹細胞移植療法を組み込んだ治療法に関する第Ⅱ相試験 (JCOG0907)
- (52) 内科学 (Ⅱ)教授 高山 信之 (実施状況)
成人 **core binding factor** 急性骨髄性白血病に対するシタラビン大量療法のK I T 遺伝子型別反応性を評価する臨床第Ⅳ相試験-JALSG CBF-AML209-KIT Study (CBF-AML209-KIT)-
- (53) 内科学 (Ⅱ)教授 高山 信之 (実施状況)
初発慢性期の成人慢性骨髄性白血病に対するニロチニブとダサチニブの分子遺伝学的完全寛解達成率の多施設共同前方視的ランダム化比較試験 (JALSG CML212 study)
- (54) 内科学 (Ⅱ)教授 高山 信之 (実施状況)
染色体・遺伝子変異が成人急性骨髄性白血病の予後に及ぼす影響に関する観察研究 -JALSG AML209 Genetic Study (AML209-GS)-
- (55) 小児科学准教授 吉野 浩 (実施状況)
日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) における小児血液腫瘍性疾患を対象

とした前方視的疫学研究

- (56) 総合医療学助教 小林 敬明 (実施状況)
結腸・直腸癌根治切除不能肝転移における術前化学療法の第二相臨床試験
- (57) 総合医療学助教 小林 敬明 (実施状況)
結腸直腸癌における転移・再発巣での遺伝子変異に関する研究
- (58) 循環器内科医員 樋口 聡 (実施状況)
冠動脈ステント留置術後12ヶ月超を経た心房細動患者に対するワーファリン単独療法の妥当性を検証する多施設無作為化試験
- (59) 内科学(I)教授 有村 義宏 (実施状況)
抗好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究
- (60) 小児科医員 宮田 世羽 (実施状況)
母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究
- (61) 内科学(I)学内講師 皿谷 健 (実施状況)
成人における呼吸器疾患のマイコプラズマ、クラミドフィラを主体とした細菌感染症の関与についての研究
- (62) 内科学(I)学内講師 皿谷 健 (実施状況)
膠原病的背景を有する特発性間質性肺炎の多施設共同コホート研究
- (63) 内科学(I)学内講師 皿谷 健 (実施状況)
結核性胸膜炎の診断のための予測スコアリングシステムの確立
- (64) 内科学(I)准教授 石井 晴之 (実施状況)
自己免疫性肺胞蛋白症の遺伝素因に関する研究
- (65) 内科学(II)教授 高山 信之 (実施状況)
高齢者または移植拒否若年者の未治療症候性骨髄腫患者に対する
melphalan+prednisolone+bortezomib (MPB) 導入療法のランダム化第II相試験
(JCOG1105) 付随研究: JCOG バイオバンクプロジェクト"
- (66) 内科学(II)教授 高山 信之 (実施状況)
急性前骨髄球性白血病に対する亜砒酸, GO を用いた寛解後治療第II相試験(JALSG
APL212 study)
- (67) 内科学(II)教授 高山 信之 (実施状況)
FLT3/ITD 変異陽性成人急性骨髄性白血病を対象とした同種造血幹細胞移植療法の有効性と安全性に関する臨床第II相試験-JALSG AML209-FLT3-SCT Study
(AML209-FLT3-SCT) -
- (68) 内科学(II)教授 高山 信之 (実施状況)
JALSG 参加施設に新たに発生する全AML,全MDS,全CMML 症例を対象とした5年生存率に関する観察研究(前向き臨床観察研究)

- (69) 内科学(Ⅱ)教授 佐藤 徹 (実施状況)
呼吸器疾患に伴う肺高血圧症の多施設前向き症例登録研究 (Japan Respiratory PH study)
- (70) 外科学教授 井本 滋 (実施状況)
進行再発乳がんにおけるエリ布林 Bi-weekly 投与の有効性と安全性の検討 (第Ⅱ相試験) Feasibility study of the bi-weekly administration of eribulin for metastatic breast cancer
- (71) 内科学(Ⅰ)学内講師 皿谷 健 (実施状況)
結核性胸膜炎の診断のための予測スコアリングシステムの確立 (後ろ向き研究)
- (72) 内科学(Ⅱ)教授 高山 信之 (終了)
思春期・若年成人急性リンパ芽球性白血病におけるトランスクリプトーム解析 (ALL202U-EWS)
- (73) 保健学部臨床検査学 講師 菰田 照子 (終了)
平成 27 年度 保健学部 臨床検査技術学科 3 年生を対象とした一般検査学実習における病的尿沈渣成分の観察
- (74) 保健学部看護学科助教 谷口 綾 (終了)
緊急帝王切開を受けた女性の産後 3～4 か月までの心理的プロセスに関する研究
- (75) 脳神経外科学教授 塩川 芳昭 (終了)
脳疾患検診 (脳ドック) が受診者にあたえる精神的、身体的影響に関する前向き観察研究
- (76) 内科学(Ⅰ)准教授 石井 晴之 (終了)
特発性肺線維症急性増悪および薬剤性肺障害に関与する日本人特異的遺伝素因に関する研究
- (77) 内科学(Ⅱ)講師 佐藤 俊明 (終了)
致死性不整脈の既往を有する冠攣縮性狭心症症例における致死性不整脈の再発ならびにその予測因子に関する後ろ向き多施設共同臨床研究
- (78) 救急医学准教授 山田 賢治 (終了)
Two adult cases of sepsis-associated purpura fulminans.
- (79) 外科学教授 井本 滋 (終了)
トラスツズマブおよびタキサン系抗癌剤治療歴のある HER2 陽性転移性乳癌において、トラスツズマブ+カペシタビン併用療法 (HX 療法) とラパチニブ+カペシタビン併用療法 (LX 療法) とを比較するランダム化比較第Ⅱ相試験における効果予測因子の探索的研究(WJOG6110BTR)
- (80) 内科学(腫瘍科)助教(任期制) 岡野 尚弘 (終了)
化学療法未治療の遠隔転移を有する膵癌に対する L-OHP+CPT-11+5FU/1-LV 併用療法 modified regimen (mFFX) の第Ⅱ相試験

- (81) 内科学(Ⅱ)助教 三輪 陽介(終了)
日本における非侵襲的心電学的指標を用いたリスク層別化に関する多施設共同研究
(JANIES 研究) Japan-Noninvasive Electrocardiographic Risk Stratification
(JANIES) Study for Prediction of Sudden Cardiac Death"
- (82) 眼科専攻医 井之川 宗右(終了)
Stevens-Johnson 症候群(SJS) および中毒性表皮壊死融解症(TEN)の眼合併症に関する疫学調査(2008年-2010年)
- (83) 整形外科准教授 森井 健司(終了)
脂肪腫と高分化脂肪肉腫の鑑別診断における血清 d-dimer 値の応用
- (84) 整形外科准教授 森井 健司(終了)
軟部悪性腫瘍における unplanned resection の実態調査—臨床的特徴および治療成績への影響—
- (85) 内科学(Ⅰ)学内講師 福岡 利仁(終了)
トリズマブ治療により寛解を得られた関節リウマチ患者に対するメンテナンス治療の検討
- (86) 内科学(Ⅰ)学内講師 皿谷 健(終了)
公益社団法人日本化学療法学会：公益目的事業プロジェクト研究計画「Clostridium difficile 感染症“1日”多施設共同研究」
- (87) 内科学(Ⅱ)教授 高山 信之(終了)
再発・再燃・治療抵抗性の多発性骨髄腫に対する bortezomib+dexamethasone 併用(BD)療法と thalidomide+dexamethasone 併用(TD)療法のランダム化第Ⅱ相試験(ver2.0) (JCOG0904)
- (88) 内科学(Ⅱ)教授 吉野 秀朗(終了)
心疾患の予後評価における心筋 SPECT 検査の有用性についての研究実施計画書～リスク因子による患者層別化を目的とする～An Establishment of the Statistical Evidence for Cardiovascular Disease on Kyorin Nuclearcardiology Study (The ESCARD Study)
- (89) 心臓血管外科学教授 布川 雅雄(終了)
ASOの疾患特異的なQOL評価である Vasu QOLを用いたサルボグレラートのQOLに与える影響と歩行障害改善効果
- (90) 心臓血管外科学教授 布川 雅雄(終了)
閉塞性動脈硬化症における個別化医療の実現

以上

次回医学部倫理委員会 平成27年9月14日(月) 13時00分